



Vol.03 〓 Ryu orthopedics clinic

神戸市

劉整形外科クリニック

導入機器：プロテクノ PNF×4 プロテクノ EMS×2

導入時期：2005年2月

機器導入までの経緯をご説明いただけますか？

——最初は老人の筋力強化のために何かいいものがないかと探していたのですが、たまたまキャンペーンのDMが届いており、御社に連絡をしてすぐに機械のデモンストレーションをスタートしてもらいました。

デモの時の印象はいかがでしたか？

——実はデモ機を持ってきていただいた日の午後には、もう導入を決めていました。患者さんの反応よりも、実際私が機械を使ってみたところ、まさに夢に描いたものだと実感をしたからです。それまでに何台か他社

製のEMSマシンも試したのですが、プロテクノ PNF は操作の簡単さや筋肉に対する刺激感が他のものと全く違いました。

整形外科では患者さんのほとんどがリハビリを必要としており、中には毎日リハビリに通ってくる方がたくさんおられます。そのような患者さんの早期回復のために、なんらかの形で簡単に筋肉のトレーニングができるものを導入したいという思いがずっとありました。そういう意味でもプロテクノ PNF は当院にうってつけの機械だったのです。



『医者いらず』も
過言ではないかもしれません(笑)。

劉金宙 (劉整形外科クリニック院長)

プロフィール

昭和53年台湾の高雄医科大学医学部を卒業。
平成3年神戸大学医学部博士号取得。

日本整形外科学会認定専門医 日本医師会認定
産業医 日本リウマチ財団リウマチ登録医北米
肥満研究学会 (NAASO) 会員

導入後はどのようにお使いになりましたか？

— EMS の技術はもともと筋肥大を目的としていますし、当初はトレーニングマシンとして位置付けていたのですが、機械をいろいろと使っていく中で新しい気づきを与えられました。それは、前々から興味をもっていた「筋肉のトレーニング」と「成長ホルモン」の関係についてです。スポーツ選手にも多くみられますが、筋肉の刺激によって成長ホルモンが増えるというのは一つの定説となっています。そこで、私自身プロテクト PNF をかけた後、何回か採血をして成長ホルモンの血中濃度を測定してみたのですが、予想通り通電後の成長ホルモン量が増加する結果がでました。しかし、成長ホルモンは環境に左右されることも多く、個人差もとても大きい。常に一定の血中濃度ではなく、食事や生活パターンによっても変わります。そこで、プロテクト PNF をかける直前に基礎値を測定し、プロテクト PNF をかけた直後と一時間後に段階的に測定したんですね。そうしたら、面白いことに、直後よりも一時間くらい後のほうが成長ホルモンの分泌量が増えていました。当院に通院しておられる 50 代の患者さんの協力を得て、同じ手法で測定をしてみました。同じような結果がでました。

成長ホルモンは生活にどのように影響しますか？

— 成長ホルモンというのは歳をとると低下していきます。10 歳年をとるごとに成長ホルモンの量は約 14% くらい減っていくと報告している文献もあります。成長ホルモン量の減少は、筋肉の量の減少、内臓脂肪の増加、骨量の減少の現象を引き起こします。そして生活意欲の減退や非典型的鬱病とよばれる老人によく見られる症状を招くともいわれているんですね。アメリカではそういう鬱症状を改善するために成長ホルモンの投与も行われています。

これまでの臨床の立場から判断して、私はプロテクト PNF を効果的に使用することで成長ホルモン注射の変わりにさえなと思っています。人体の 40% にも占める筋肉、なかでもインナーマッスを動かすことが、人体の内分泌にとってとても重要な役割があるのではないかと仮定し、現在も地道に臨床データを取りつつ、論文をまとめている最中です。



大阪本社プロテクト PNF セミナーにおいて発表された資料の一部

他にも効果的な症例や使用法はありますか？

— 肩こり、頸部周辺の急性期の痛みに対して使用したプローブはとても効果的でした。「医者いらず」も過言ではないかもしれません（笑）。吸引カップの使用頻度が一番多いですね。粘着導子はいわゆる五十肩などの関節の可動域改善のために運動と併用する場合に使用します。

リウマチ的疾患にもよく合併して発症する線維筋痛症という疾患がありますが、これは全身性の筋肉の痛みが主な症状で、軽く押さえてもかなり痛く、痛みの根本的な原因がわからないんですね。痛みは確実にあるが、どこで診てもらっても原因がわからない。その病因に関してはまだまだ憶測の段階です。欧米ではよくエアロービックスを処方します。そこでプロテクト PNF を用いて治療すればかなり効果が期待できると思っています。根治はできませんが。ただ、生活の質は確実に改善すると思います。



今後機械の導入を検討されている方に一言いただけますか。

— まずは患者さんより先に、ご自分で何回か試していただきたいですね。自分で使ってみると機械の特性がよくわかります。また、どのような症例に効きそうなのかが見えてくる。様々な分野の先生方に使っていただければ、プロテクト PNF の新たな可能性が広がっていくと思います。

ありがとうございました。

INFORMATION

TEL 078-261-0722 FAX 078-261-0722
住所 兵庫県神戸市中央区中山手通 1-24-4 ドラゴンズビル 4F
診療時間 月～土 9:30～12:30、15:30～18:30
休診日 土曜日午後、日曜・祝日
診療科目 整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
URL なし
E-mail kcryu@qg8.so-net.ne.jp

